

内容

雷検知器 <small>らいほう</small> - 雷報 - 保証書付き取扱説明書	2
はじめにお読みください	2
送付物一覧	2
保証書	2
製品仕様	2
使用方法	2
電池のセット法	2
電源の入れ方	3
設定・検知音と避難の目安	3
判断に役立つ気象情報	3
避難行動について	3
使用場所に関する注意	4
安全にご利用いただくための注意事項	4
警告	4
注意	4
お願い	4
免責事項	4
保証契約約款	4
1 条 定義	4
2 条 無償保証	5
3 条 修理	5
4 条 個人情報の取り扱い	5
5 条 免責事項	5
6 条 有効範囲	5
7 条 反社会的勢力の排除	5
8 条 約款の変更	5
お問い合わせ	5
改訂情報	5

雷検知器 -^{らいほう}雷報-

保証書付き取扱説明書

はじめにお読みください

シナノカメラ工業株式会社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください
- 本書中の警告・注意を守り安全にお使いください
- 本書はなくさないよう保管してください



送付物一覧

- ◇ 本書(保証書付き取扱説明書) A3 両面印刷 1 枚
- ◇ 雷検知器本体(電池は付属していません)
- ◇ 携行マニュアル 両面印刷 1 枚

保証書

品名/品番 雷検知器 雷報/ SCE-001

お客様氏名 様

電話番号

郵便番号 〒

都・道・府・県

ご住所

お買い上げ日 西暦 年 月 日

シリアルシール貼付部分

販売店情報スタンプ・レシート等貼付

*万が一シリアルナンバーが保証書にない場合は、お問い合わせください

*お買い上げ日が確認できるレシートなどと一緒に保管してください

*保証期間は1年です。

製品仕様

品名 雷検知器-雷報-

品番 SCE-001

サイズ W45.0×D21.0×H98.7

重量 68g (電池無し)

電源 単4電池 1本 (付属しません)

使用温度 5~45℃

重要事項

本製品は落雷を検知し、早めの避難により雷から身を守るための補助装置です。気象情報の確認と併せて避難判断の補助にお役立てください。建物や周辺の状況により落雷を検知できない場合もございます。本製品が作動しないときでも雷鳴が聞こえる・雷光が目視できる・雷雲の接近が確認できる場合はご自身の判断で避難してください。本製品は使用によって身体の安全を保障するものではありません。本製品を使用しているときの雷に起因する事故について当社および販売者は一切の責任を負いません。

使用方法

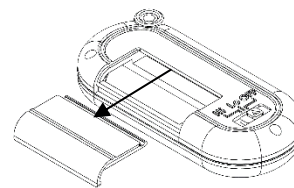


図1.電池フタのスライド

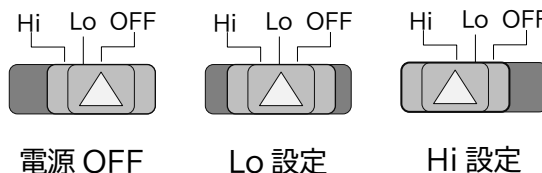


図2.電源および検知距離切り替えスイッチ

電池のセット法

電池フタを横方向にスライドして取り外し、電池をセットしてください。電池セットの際には極性に注意してください。バネがある方向が(+)極です。電池フタが固い場合があります。着脱時にケガをしないようご注意ください。

電源の入れ方

電源スイッチの▲マークを Hi にあわせると「ピー」という電子音とともに起動します。その後、必要な検知範囲に合わせてご使用ください。検知範囲は Lo が 20～30km、Hiが 40～60km検知の目安です。

設定・検知音と避難の目安

雷雲の移動速度は時速 5～40km/時とされています。雲の速度が速い場合、40km 時点で避難判断をしたとすると避難時間は 1 時間確保できることになります。

スイッチを Hi にセットし起動します。この状態では半径 約 60km 圏内の落雷を感知します。頻繁になる場合、可能であれば気象情報をご確認ください。確認が取れない場合、スイッチを Lo に切り替えます。Lo では半径 約 30km 圏内の落雷を検知します。Lo に切り替えても頻繁に作動する場合は、雷が近づいていると判断し避難行動をとってください。

判断に役立つ気象情報

避難の判断に役立つ情報として、気象庁のナウキャストをご紹介します。ナウキャストでは日本地図で雷雲や落雷地点を確認することができます。



ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻) - 気象庁 -

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

避難行動について

-落雷の危険について-

落雷時は直撃の危険だけでなく、建物や地面を伝って強い電流が流れます。この電流が心臓や脳を走ると、身体に深刻なダメージをもたらします。次にこれらの危険からできる限り回避する行動について説明します。

-避難行動について-

可能であれば屋内・もしくは車の中に避難します。壁や窓からは距離をとり、部屋であれば中心に近いところに体を置くのがよいでしょう。

-屋内・車内への避難が出来ないとき-

野外での避難行動についてです。屋内への避難が出来ないときの参考にしてください。

落雷時は雨天のことも多いですが、傘をさす・軒先での雨宿り(壁に近い)は危険行為となります。建物や金網などからは距離を置きます。可能であれば避雷針となりうる自分より背が高い物体(建物・木・電柱)から 4m以上離れ、次に示す「雷しゃがみ」の体勢をとります。高所物体から 4m圏内は側撃雷の恐れがあり、危険個所です。4m～高所物体を水平から見上げ 45°で結んだ地点は保護範囲とよばれ、落雷の危険から身を守ることが出来ます。

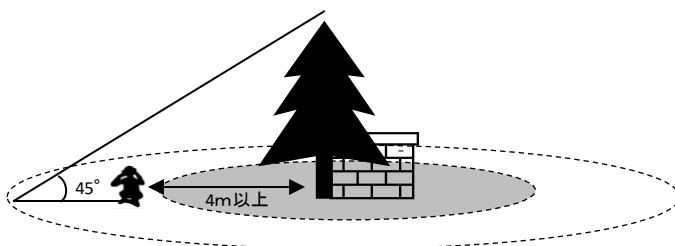


図3. 高所物体と側撃範囲(グレー)・保護範囲(白円内)

-野外における緊急時の基本体勢「雷しゃがみ」-

「雷しゃがみ」の体勢は心臓・脳への電流の到達を防ぎます。

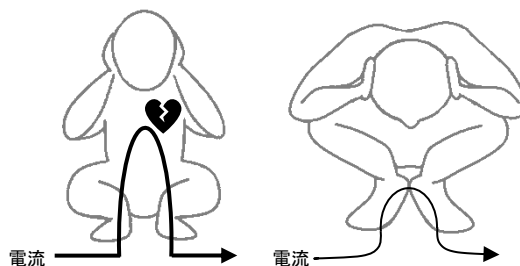


図 4. 一般的なしゃがみ方(左)と雷しゃがみ(右)

■□ 雷しゃがみの姿勢 □■

- ①頭を下にかがめる
- ②両手で耳をふさぐ
- ③足のかかと同士を合わせる
- ④つま先で立つ

両足のかかとを合わせる理由は、万が一、電流が足から進入しても上半身まで流れないように片足から反対側の片足に流すためです。また、つま先で立つ理由は地面との接点を可能な限り小さくして、電気の侵入を最小にするためです。耳を手でふさぐのは鼓膜の破損を防ぐためです。落雷時に身を低くするのは基本ですが、その際地面との接触が多くなると通電してしまいます。特に寝そべる・手をつく行為は心臓・脳への通電リスクが高まり危険です。この基本体勢は日常生活で取らない体勢です。訓練しましょう。

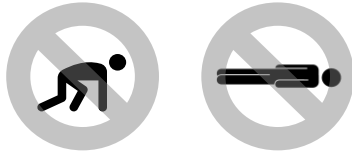


図 5.NG 体勢 手での地面接触

使用場所に関する注意

本製品は野外での使用を想定し、設計しております。雷が放出する複数の周波数帯の電波を捉える構造上、以下に挙げるような場合においては落雷がなくても警告音がでる場合があります。

- ◇ 電子機器の近く(スマートフォン・PC・自動ドアなど)
- ◇ 電波を発する構造物の近く
- ◇ 車の動作時(ウインカー・ロック動作など)

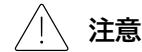
安全にご利用いただくための注意事項



警告

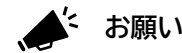
- 直射日光のあたる場所や炎天下の車内など高温になる場所に長時間放置しないでください。故障変形の原因となります。
- 火気やストーブなどの熱源に近づけないでください。本体の変形や乾電池の破裂・発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- お風呂場や加湿器のそばなど湿度の高いところ(湿度85%以上)では保管および使用しないでください。発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- 万が一、製品が水中に落下するなど内部に水の侵入が疑われるときは、そのまま使用しないでください。発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- 製品のそばに花瓶や植木鉢・化粧品・飲料など液体の入った容器、また小さな金属を置かないでください。液体や金属が内部に入った場合、発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- 製品の内部に物を差し込んだり入れたりしないでください。発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- 電池交換の際には、極性を間違えないでください。発火・故障・誤作動の原因になることがあります。
- お客様や第三者が製品を誤って使用した場合の故障、また

分解・改造を行った場合の事故について当社はその責任を負いません。



注意

- 製品は防水仕様ではありません。雨天使用時には防水用袋の使用など製品を濡らさないよう願います。
- 製品を長期間使用しない場合は乾電池を製品から取り外してください。いれたままにしますと液漏れの原因となります。液漏れは火災・怪我・汚染の原因になることがあります。
- 乾電池を加熱・分解・ショートしないよう願います。乾電池の破損は火災・怪我・汚染の原因になることがあります。乾電池の破棄はお住いの自治体の指示に従って廃棄してください。
- 製品の内部点検・分解・調整・清掃・修理は危険ですのでしないでください。
- 製品の上に物を載せたり、乗ったりしないでください。けがや故障の原因となります。



お願い

本製品・取扱説明書は仕様および外観について将来予告なしに変更することがあります。

免責事項

本書に記載された責任は日本国内においてのみ有効である。

本製品は日本国内での使用を前提に設計・製造している。日本国外での利用についてその責任を負いかねる。

本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金もしくは希望小売価格のいずれか低いものを上限とする。

本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を補修もしくは瑕疵のない同一製品への交換を行うが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じない。

本製品は避難判断の補助具であり、本製品使用中および故障時の事故・社会的損害について当社ではいかなる責任も負いかねる。

保証契約約款

この約款はお客様が購入された当社製品について、保証契約に基づく修理・代替品交換などに関する条件を規定したものです。この約款によりお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

1条 定義

1-1この約款において【保証書】とは保証期間中に製品が故障した場合に当社が修理・代替品交換を行うことを約した証明書である。

1-2この約款において【故障】とは取扱説明書を基準に利用者が正しい使用で製品を利用したと

き、製品が正常に作動しないことを指す。

1-3この約款において【無償保証】とは保証期間内に 1-2 に該当する故障が発生した場合、当社が購入者に対し無償で修理・代替品交換を行うことを約束するものである。

1-4この約款において【製品】とは、当社が販売時に梱包を行ったもののうち、製品本体を指す。付属品および添付品は含まない。

1-5この約款において【個人情報】とは、生存する個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む）を指す。

2条 無償保証

本製品が故障した場合、購入者は保証書に記載された保証期間内に当社に依頼することにより無償保証を受けることができる。但し次に掲げる項目に該当する場合は無償保証を適用できない。

2-1この約款における 1-2 に該当しない故障が発生したとき。

2-2依頼時に保証書を提示できないとき。

2-3提示される保証書でシリアルナンバーが確認できないとき。

2-4シリアルナンバーの修正・偽造の疑いがあるとき。

2-5購入日の確認が取れないとき。

2-6火災・地震・風水害・その他天変地異、異常電圧などの外部的要因により不具合を起こしたとき。

2-7利用者に起因する不具合が発生したとき。

3条 修理

3-1無償保証が適用されないとき、当社ではその製品の修理・交換には無償で応じない。

3-2修理費用が製品価格を上回る場合・部品の調達が困難である場合などは交換対応とする。

3-3修理により取り外された旧部品については、当社での破棄を原則とする。

3-4修理完了・交換対応のご連絡時に購入者と連絡が取れない、もしくは指定された住所に発送が出来ない場合、1ヶ月の保管をもって当該製品の所有権は当社に移転する。

4条 個人情報の取り扱い

4-1当社は個人情報の適切な取り扱いと管理に努める。

4-2製品の保証に関連して入手した個人データについての利用は、当該製品の関連業務の遂行および当社のサービスに関連して個人を識別できない形式に加工した統計データを作成する為に利用する。

5条 免責事項

5-1当社がこの約款に基づき行った、修理・交換に関連して当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、当社に故意もしくは重要な過失があった場合を除き、その賠償額は当該製品の購入額もしくは希望販売価格のいずれか低いものを上限とする。

5-2本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を補修もしくは瑕疵のない同一製品への交換を行うが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じない。

6条 有効範囲

この約款は日本国内においてのみ有効とする。日本国外での利用について当社はいかなる保証も負いかねる。

7条 反社会的勢力の排除

購入者および利用者が暴力団員による不当な行為の防止に関する法律、第2条第2号・第2条第6号の定義に該当する場合、当社はいつでも催告を要することなく保証契約を解除することが

出来る。

8条 約款の変更

当社は当社Webページに掲載する方法で、この約款を予告なく変更できるものとします。製品利用者はその責任においてこの約款を確認の上、最新の約款をご承諾の上利用するものとする。

お問い合わせ

当社 Web サイト QR コード



URL: <http://www.sinakame.co.jp>

URL 先の【お問い合わせ】フォームをご利用ください。QR コードからアクセスが可能です。

シナノカメラ工業株式会社

〒399-0011 長野県松本市寿北3丁目7番24号

TEL:0263-58-2360(代表)

改訂情報

文書管理番号 SCE-001_manual_rev02



最新版 取扱説明書 QR コード